

社会福祉法人いいたて福祉会が今年で10周年を迎え、福祉会役員や職員、村関係者など120人が出席し、「いちばん館」で10周年記念式典が行われました。

式典では、はじめに福祉会の菅野典雄理事長が式辞を述べた後、来賓の北原昇村議会議長と相双地区特別養護老人ホーム連絡協議会の春木一雄会長（「館山荘」富岡町）施設長から祝辞が述べられました。

続いて、永年にわたり福祉会のボランティア活動に



▲記念式典のようす



▲ボランティア活動の感謝状を受ける佐藤さん

続けて、永年にわたり福祉会のボランティア活動に

尽力いただいた個人や団体、さらに永年勤続職員らに理事長から感謝状が贈呈されたほか、10周年記念品として全職員から福祉会へ木彫が寄贈されました。

また、スライドで10年間の歩みの写真が映されると、出席者らは懐かしそうに見入っていました。

いいたて福祉会は平成9年10月に開所、特老いいたてホームや在宅介護支援センター、デイサービスセンター、ホームヘルプサービス、訪問入浴サービスなど介護福祉全般にわたるサービスを提供しています。

10/14

いいたて福祉会が10周年

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



9/30 スポーツカーニバル2007



▲塩の道を歩く参加者ら

今年で10回目を迎えた村体育協会（大内雄治会長）主催の「スポーツカーニバル2007」が、センター地区のスポーツ公園陸上競技場をメイン会場に開催されました。

今年は、午後から雨が降ってきたため予定していたグラウンドゴルフ大会が中止となり、10周年記念ウォーキング大会と柔剣道場でのバドミントン大会のみの実施となりました。

このうち、「塩の道」を歩くウォーキング大会には41人が参加。スポーツ公園陸上競技場を

10周年記念ウォーキング大会を開催

スタートし、飯樋大久保から関沢を通って戻る約7.5kmのコースを2時間30分かけて歩きました。コースの途中にはクイズが設けられ、ゴール後には正解率の高かった参加者に記念品が贈られました。

第5回飯館オープンバドミントン大会結果

村内外から20人が参加。



▲英語指導助手のアレクサさんも参加したバドミントン大会

【大会結果（優勝のみ）】
▽男子ダブルス：富良野和信（福島市）・斎藤弘幸（南相馬市）
▽女子ダブルス：林さい子・星敦子（飯館村）
▽混合ダブルス：大澤和巳・林さい子（飯館村）

「家具転倒防止作戦」初めて実施



▲天井と家具の間に支えボールを取り付ける協力員

市内の一人暮らし高齢者世帯と高齢者のみの世帯を対象とした「家具転倒防止作戦」が実施されました。

この作戦は、地震が発生した時などの家具転倒による事故を未然に防ぐため、関係団体の代表者で組織する村家具転倒防止作戦実行委員会（実行委員長・小山茂社協会長）が初めて実施したものです。



▲ドライバーにチラシなどを配る参加者ら

9/25 交通安全街頭キャンペーン

「秋の全国交通安全運動」に合わせ、村生活安全協議会交通安全本部（只野俊部会長）による「交通安全街頭キャンペーン」が公民館駐車場で実施され、部会員をはじめ南相馬警察署、JAそうま、村ライオンズクラブ会員など20人が参加しました。

キャンペーンでは、県道原町川俣線を通行するドライバーにチラシや夜光反射材、それに村ライオンズクラブ（渡辺春治会長）から提供されたヤクルトを手渡し、事故防止を呼びかけました。

八和ホススポーツクラブリーグ戦4連覇！



▲4連覇を達成した八和ホススポーツクラブのメンバー

村ソフトボール連盟（遠藤光栄会長）の今年度リーグ戦の全日程が終了し、5戦全勝の「八和ホススポーツクラブ」が4連覇を達成しました。

連盟のリーグ戦は、ソフトボールを通してメンバーやチーム同志の交流を図ることを目的に、昭和52年にスタートし現在まで30年以上続いています。多い年には20数チームありましたが、年々参加チームが減り、今年は6チームでの開催となりました。皆さんも会社や地域、友人同士でチームをつくり、来年度からのリーグ戦に参加してみませんか。

【リーグ戦結果】
優勝・八和ホススポーツクラブ（5勝）、準優勝・オール前田ソフトクラブ（4勝1敗）、第3位・好友会（3勝2敗）

第25回いいたたて秋まつり

10/26・27・28

各会場で各団体が多彩なイベント



▲総合文化展

27日、JAそうま飯館集出荷場で「収穫感謝祭」が行われ、生産者らが米や野菜などを神前へ献饌し、今年の収穫に感謝しながら来年の豊作を祈願しました。

また、いちばん館で開かれた「健康フェスタ」では、豆つかみりレーや親子豆腐作り体験、健康相談などのイベントが行われました。（詳しくは8ページをご覧ください）



▲収穫感謝祭



▲鮭のつかみ取り

28日には公民館で「商工まつり」が行われ、会員らの模擬店が並んだほか、鮭つかみ取りでは子どもたちが歓声を上げながら鮭を追いかけていました。

このほか、総合文化展やあぶくま高原そばフェスタ、イータテベイクじゃがいもフェスタ、JAまつり、飯館分校「紅葉祭」など各団体による多彩な催しに、各会場とも多くの家族連れなどが訪れました。

この秋まつりは、いいたたて村づくり推進協議会（会長・菅野村長）が、関係団体の協力によって毎年主催しています。

25回目を迎えた今年の秋まつりも3日間にわたって多彩な催しが行われ、各会場とも大いに賑わいました。

価値ある大きな1勝

市町村対抗県軟式野球大会 第1回大会

9/29・9/30・10/6



▲得点を入れ喜ぶ飯館村の選手たち（塙町戦）

福島市内の球場で開催された「第1回市町村対抗県軟式野球大会」で、飯館村チームが1勝を挙げ3回戦へ進出しました。

この大会は、福島民報社が創刊115周年記念事業として、市町村の交流や軟式野球の普及を目指し今年初めて開催したものです。大会には県内市町村の選抜39チームが出場、郷土の誇りをかけて熱戦を繰り広げました。

1回戦シードの飯館村は2回戦で塙町と対戦、

投打がうまく噛み合い4対1で見事に勝利を収めました。

続く3回戦では郡山市と対戦し、善戦したものの1対0で惜敗しました。

この試合後、佐藤正幸監督（前田・八和木）は、「短い練習時間だったがチームがまとまり、選手たちが良く頑張ってくれた。来年は上位を目指したい」と話していました。

また、大会に先立ち行われた開会式では、抽選会で一番くじを引いた飯

飯館村チームの高橋祐一主将（前田・八和木）が、「郷土の代表として全力で戦い、多くの人に感動を与えることを誓います」と力強く選手宣誓をしました。

選手層の厚い市町村のチームと互角以上に戦った飯館村チーム。来年の大会でも、今年以上の健闘が期待できそうです。

今年は「健康フェスタ」も開催

秋まつり



▲健康フェスタ講演会



▲昔なつかしい写真の展示



▲うさぎとのふれあいコーナー



▲草野の三匹獅子（収穫感謝祭）



▲健康器具の展示・体験

健康フェスタ講演会

26日の夜には「いちばん館」で「健康フェスタ講演会」が開かれ、本県出身で東京農業大学の小泉武夫教授が「命の源である『食』と子育て」と題して講演しました。

講演で小泉先生は、日本における食生活の変化によって今の子どもたちの体質が弱くなっていることを説明し、食べ物と心と食生活と食生活などについて、医学的根拠をもとに講話しました。

会場には村民ら160人が聴講に訪れ、小泉先生の話熱心に耳を傾けていました。



▲講話する小泉先生

飯館村チーム選手名簿

守備位置	氏名	行政区	守備位置	氏名	行政区
監督	佐藤 正幸	前田・八和木	内野	菅野 啓一	関根・松塚
主将	高橋 祐一	前田・八和木	内野	田村 朗	二枚橋・須萱
投手	佐藤 正章	上飯樋	外野	早川 健一	宮内
投手	佐藤 和利	前田・八和木	外野	長谷川武志	前田
投手	小山 洋平	草野	外野	菅野 昌彦	宮内
投手	三坂 雅俊	白石	外野	末永 進一	深谷
捕手	末永 洋行	深谷	外野	山口 昌洋	上飯樋
内野	佐藤 利幸	大久保・外内	外野	高橋 英樹	二枚橋・須萱
内野	金沢 章博	飯樋町	外野	一刀 幸信	上飯樋
内野	山田 豊	関根・松塚	外野	山田 暁	関根・松塚
内野	細川 哲也	上飯樋	マナージャー	高倉 常成	前田
内野	村山 貴紀	宮内	マナージャー	松下 義光	草野
内野	長谷川義宗	前田			

（順不同・敬称略）



誕生おめでとう

赤ちゃんの名まえ 親の氏名 行政区

細川 来美ちゃん 栄喜・晴美 大久保・外内
 神代あずさちゃん 憲男・さゆり 大久保・外内
 細川 一星くん 勉・尚美 伊丹 沢

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名 行政区

松 下 義 光 草 野
 佐 藤 景 子 南相馬市

いつまでもお幸せに

【お詫言と訂正】
 前月号の「結婚おめでとう」で佐藤翔太さん（関根・松塚）とあるのは、佐藤翔太さんの誤りです。お詫言して訂正します。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
安 齋 勇	95	小 宮
菅 野 トミノ	87	伊丹沢（関根・松塚）
横 田 今朝治	82	草 野
佐 藤 壽八郎	76	二枚橋・須萱
佐 藤 喜 七	98	伊丹沢（上飯橋）

ご冥福をお祈り申し上げます

（9月21日から10月20日までに届け出のあったものを掲載）
 ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

（平成19年10月1日現在）

人 口	今 月 (前月比)	昨年同月
男	3196人 (-12人)	3266人
女	3244人 (-6人)	3300人
計	6440人 (-18人)	6566人
世帯数	1725戸 (±0戸)	1744戸

◆◆9月1日～30日までの人口動態◆◆
 転入 14人 転出 29人
 出生 5人 死亡 8人

（平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口）

自分の星を見つけよう

10/12

「親子星空観察会」



▲望遠鏡を使って星を観察する参加者ら

相双教育事務所が事業として管内市町村の教育委員会がそれぞれ連携事業を企画し取り組んでいる、平成

19年度相双ネットワーク創造プラン市町村広域連携講座「第2回親子星空観察会」が、村民の森「あいの沢」で開催され、村内外から42人が参加しました。

今回も7月の第1回観察会に続き、村生涯学習課が村内の「われら星空同好会」と連携して実施し、「いいたて・までい・ユニット」副団長で天文ジャーナリストの大野裕明さん（福島市）が講師を務めました。

この日は、美しい星空が広がり、参加者らは望遠鏡を使って星座を観察したり、芝生に寝転がって村の夜空に輝く星を眺めたりしていました。

村ライオンズクラブ（渡辺春治会長）と村ゲートボール協会（大東正男会長）主催の「飯館ライオンズクラブ会長杯ゲートボール大会」がふれあい交流館「たてやま」で開かれ、村内7チーム42人が参加しました。

大会は予選リーグと決勝トーナメントで行われ、小宮が優勝しました。

【大会結果】優勝：小宮、準優勝：宮内、第3位：佐須、前田・八和木



▲優勝した小宮チーム選手と大会関係者ら

飯館ライオンズクラブ会長杯ゲートボール大会

10/18

伸び伸びと合唱・合奏を発表

10/17

村内小中学校音楽祭



▲合奏を発表する草野小金管クラブの子どもたち

村教育研究会（会長・新井川美千枝・石小校長）主催の「村内小中学校音楽祭」が飯館中学校体育館で行われ、児童や生徒たちが合唱や合奏の練習成果を発表しました。

今回の音楽祭に参加したのは、草野小と飯橋小の4年生、白石小の3・4年生、飯館中3年生の選択音楽、さらに草野小金管クラブと飯橋小合唱部、そして飯館中吹奏楽部の7つ。各学校とも、日頃から練習してきた曲目を、表現力豊かに発表しました。

会場には多くの保護者らが訪れ、演目が終わるたびに大きな拍手を送っていました。

村としての品格を！

こころの
ぽけっと

村民の色々な活動に感動し、感謝することの多い近頃ですが、村民の方が多分まだ知らない「とても嬉しかったこと」の二話を紹介します。

その一つは、国立大学法人高知大学の入試問題に、飯館村の事業が使われたことです。その事業とは、6年間続けてきた「親のありがたみがわかる合宿通学」です。この事業を紹介した福島民報の記事が問題文に取り上げられたのでした。内容は次のとおりです。

（前略）「親のありがたみがわかる合宿通学」が、今年も飯館村で始まった。希望する小学生が村内の施設にネット入りして学校に通う。八泊九日の期間中、テレビなし、ゲームなし、いつも大切にしてくれる親もなし。夕食は自分たちで作る。好きな時にカシを食べられない。カボチャ味に育てられた現代の子にとっては、長い長い九日間には違いない。（中略）

「子どもを不幸にするいばしん確実な方法は、いつでも何でも手に入れられるようにしてやることである」と18世紀の思想家ルソーは語っている。子どもが親のありがたみを知ることとはもちろん大切だが、今回の合宿通学は親にとってもわが子との向き合い方を見直すコウキとなったはずだ。（後略）

問1. 本文の線部のカタカナを漢字で記せ。

問2. 本文の要旨を150字以内で記せ。

問3. 本文を参考に「親子関係」について、あなたの考えを450字以内で述べよ。

これが問題のあらすじです。つまり、近頃社会問題となっている「家族のあり方」「親子の関係」を考えさせる小論文の問題として、合宿通学の事業が取り上げられたのでした。もう一つの嬉しかったことは、先日、二宮尊徳の教えを進めている市町村の集会に出席するため、茨城県へ出張した折の話です。

今の日本の厳しい状況の中で、もう一度今から約200年前の二宮尊徳の世直し術を進めることが大切だという基調講演者から「村ですか、いいですね。私は今、このことを進めているんですよ」と、名刺の裏に書かれている文字を見せられました。民俗学者の柳田国男氏の言葉で「人間には人格があるように、村には村格がある」という言葉で話した。

飯館村では、二宮尊徳の考え方を今風に「までいライフ」として、「ないものねだり」から「あるものさし」へ、そして「身の丈に合った行政」を進めているという話をしたところ、大変興味をもたれ「ぜひ、村格ということを入れて、村であることに自信をもって進めてください」と激励されたことでした。

近頃、「国の品格」「日本人の品格」などの出版本が売れているように、いわゆる「品格」が問われる時代ですが、「村の品格」というのもあるのだと認識させられ、「品格とはすなわち誇りだよ」という講師の言葉に、さらに「村であることに誇りをもって村づくりに励まねば」との思いを強くしたところでした。

平成19年10月24日

飯館村長 菅野 典雄